

エリアマネジメント論Ⅱ

科目ナンバリング TPA-302

選択必修 2単位

今野 久子

1. 授業の概要(ねらい)

都市・地域が成長から成熟の時代を迎えて、まちづくりの重心が行政主体の開発から市民主体の維持管理へと移り、コミュニティの課題も人口減少・超高齢化に伴い多様化している。こうしたなかで近年、良好な環境や地域の価値を維持向上させるための住民・事業主等による取り組みが「エリアマネジメント」として体系化・提唱されている。一方、大学には、「学生による地域課題解決への参画や地域との相互交流」が求められ(※注1)、実践例も増えつつある。

本講義では、「エリアマネジメント」の体系をもとに、市民主体の組織的なまちづくりに関する基礎的理解を促すことを目指す。具体的には、春学期の学修内容を踏まえ、「エリアマネジメント」の具体的な活動内容を多摩ニュータウンに注目して概観するとともに、組織体制(各種法人、NPOなど)や活動支援の仕組みなどについて学ぶ。能動的学修を促すため課題レポートの作成を課す。(※対面学修の場合は、個人の課題レポートに基づきグループワークを行う)。コロナ禍によりまちづくりの各場面にも大きな影響がみられ、今後の変化の方向が模索されている。今後のまちづくりを考える基礎として、これまでに蓄積されてきたまちづくり・エリアマネジメントの動向や知見の理解が重要であると考えられる。新たな取り組みは試行段階といえるが、有効な事例・知見等を見極め適宜紹介することを想定する。なお、受講者の関心等をもとに必要に応じ関係者をゲスト講師として招聘、あるいは現地視察を行う機会をつくる。受講者や社会の状況、学修内容を勘案して適宜、対面学修またはオンライン学修とする。

※注1:『第2期教育振興基本計画(平成25～29年)』における「大学COC構想」など。COCはCenter of Community(地域コミュニティの中核的存在)の略。

2. 授業の到達目標

- ①多摩など身近な地域における「エリアマネジメント」の実際の活動やプロジェクト事例について、市民活動と地域の課題・まちづくりとの関り等について説明することができる。
- ②エリアマネジメントの組織体制について基本的事項を理解し、その内容や特徴を説明することができる。
- ③エリアマネジメント活動の支援・展開について基本的事項を理解し、その内容や特徴を説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

評価は、各回の授業内容を振り返り自分の意見を記述する授業ノートが50%、課題レポートが50%の配分によって総合的に評価する。(※グループワークを行う場合は、課題レポート30%、レポートに基づくグループワークへの参加・積極的貢献20%とする)。

授業ノートの未提出4回以上、あるいは課題レポートを未提出の場合は、単位取得不可なので、厳重に注意すること。

4. 教科書・参考文献

教科書

以下の資料・参考書を適宜用いるほか、授業のなかで必要に応じて適宜紹介する。

国土交通省 エリアマネジメントに関するホームページ掲載資料(エリアマネジメント推進マニュアル等)

参考文献

小林英嗣他 (2008)『地域と大学の共創まちづくり』 学芸出版社

小林重敬 (2015)『最新エリアマネジメント―街を運営する民間組織と活動財源』 学芸出版社

小林重敬―一般財団法人森記念財団 (2018)『まちの価値を高めるエリアマネジメント』 学芸出版社

上野淳・松本真澄 (2012)『多摩ニュータウン物語 オールドタウンと呼ばせない』 鹿島出版会

秋元孝夫 (2005)『ニュータウンの未来』 多摩ニュータウン・まちづくり専門家会議(pdf版無償配布)

5. 準備学修の内容

まちづくりは、日常生活のあらゆる分野が総合的に関連するため、日頃から新聞、雑誌、メディア情報等を通して地域・社会の現状に広く関心を寄せるようにしてほしい。

グループワークでの検討は、進捗等に応じて適宜、授業外の時間で行うものとなる。

6. その他履修上の注意事項

○秋学期には、春学期の学修内容を展開して考察を深め、春・秋学期を通じて理論と具体的考察の両面から体系的理解を得られるよう構成している。そのため秋学期受講者は、春学期の単位を修得していることを基本とする。

○授業ノートの未提出が4回以上は単位取得不可、提出期限後は受理できないので、厳重に注意すること。

○課題レポートを未提出の場合は単位取得不可、提出期限後は受理できないので、厳重に注意すること。

○受講者や社会の状況、学修内容を勘案して、適宜、対面学修またはオンライン学修とする。また、受講者の理解関心や進捗等により学修スケジュールを若干修正する可能性もあるので、十分留意されたい。

7. 授業内容

- | | |
|-------|--|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | 多摩ニュータウンのエリアマネジメント活動①
多摩NTの方向性、NPO法人とまちづくり |
| 【第3回】 | 多摩ニュータウンのエリアマネジメント活動②
CSRとまちづくり |
| 【第4回】 | 多摩ニュータウンのエリアマネジメント活動③
大学と地域の交流・地域貢献の取り組み事例 |
| 【第5回】 | エリアマネジメントの組織体制①
協働と中間支援 |
| 【第6回】 | エリアマネジメントの組織体制②
許可と委託 |
| 【第7回】 | エリアマネジメントの組織体制③
活動組織の概況(法人と組合) |
| 【第8回】 | エリアマネジメントの組織体制④
活動組織の概況(NPO) |
| 【第9回】 | 課題レポートまたはグループワーク1:市民活動とまちづくりの展開①
市民活動の事例の概況 |

- 【第10回】 課題レポートまたはグループワーク1:市民活動とまちづくりの展開②
市民活動と地域の課題・まちづくりとの関わりの考察
- 【第11回】 エリアマネジメント活動の支援・展開①
地域通貨とボランティアポイント
- 【第12回】 エリアマネジメント活動の支援・展開②
空家活用とリノベーションまちづくり
- 【第13回】 課題レポートまたはグループワーク2:活動支援とまちづくりの展開①
活動支援の事例・制度の概況
- 【第14回】 課題レポートまたはグループワーク2:活動支援とまちづくりの展開②
活動支援の事例・制度とまちづくりとの関わりの考察
- 【第15回】 成果発表、授業の総括